採択大学：九州工業大学（強化を図る機能：②）

連携大学：北九州市立大学、長崎大学

参画機関：東京大学、東京科学大学、室蘭工業大学、九州大学、国立研究開発法人情報通信研究機構、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構、マレーシアプトラ大学、キングモンクット大学、北バンコク校、台湾科学技術大学、ニューヨーク市立大学、サピエンツア大学、ロレーヌ大学

取組内容の概要

ビジョン

未来を思考する「モノづくり」と「ひとづくり」を推し進め、最先端の技術と人材で世界にインパクトを与えるイノベーション創出大学となる。

具体的な取組み例

戦略①

①短期・中長期ビジョンを連動させた大学経営の実現、②産業界のスピードに対応可能な経営の実現③外部資金増と戦略的投資による循環の実現

戦略②

①未来思考実証センターの強化
②キャンパスと地域に“アイデア創出の場” “作って試せる場” “社会実装推進の場”を整備

戦略③

①「極限環境ロボット」を第一弾として、世界拠点化。
②機関の垣根を越えたオープンファシリティーセンター構想の推進。

戦略④

①教職員・博士学生のマネジメント力・社会実装力強化
②社会科学とテクノロジーの融合が可能なトランジションマネジメント人材の育成。

地域中核・特色ある研究大学強化促進事業 (J-PEAKS)

実施体制

地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）

取組内容の時系列イメージ

取組み内容	助走期間 (R6年度含む)	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度～R16年度
		Step1 基盤体制整備			Step2 有望分野での成功モデル確立			Step3 標準システム確立と他分野展開
大学経営改革	組織経営・研究経営の三角連携体制の確立／PMスキル底上げ	経営三角体制強化	PM研修メニュー試行		昇任職員等に受講を積極展開			三角経営推進体制により短期・中長期ビジョンの実践 ★54%の受講
	DX・プロセスマネジメントセンターの設置	経営戦略室・国際戦略室・若手工学アカデミーの設置	組織整備・総合仕様書検討 ★3名雇用	システム入札	DX・プロセスセンター効果検証		DX・プロセスセンター効果検証 ★27%の受講	全学が連動したDXとプロセス改善の定着
	人材マネジメントセンターの設置／統合職化とMBO評価の確立	社会実装本部・イノベーション本部・研究本部の3本部設置	統合職化のための規則検討	人事規則改定と試行		運用開始		人材マネジメントセンターによる多様な雇用創出／MBO人事評価制度の定着
社会実装機能・部隊集約	社会実装本部の体制強化	地域中核・特色ある研究大学の連携による施設整備事業	研究経営機能の集約化 ★9名雇用	イノベーションコンモンス強化	外部法人化検討 増収分の戦略経費化		外部法人化の手続き	アイデア創出⇒社会実装の機能循環の加速化／ディープテックスタートアップの集積
	社会実装機能部隊集約	文科省概算要求「未来思考実証センター」	社会実装志向工学研究者の業績評価制度の検討・整備 ★6名雇用	雇用開始・社会実装人材の流動性を担保した仕組みの運用を試行 ★150人育成				国内外の社会実装志向の工学研究者を集積 ★300人育成
	知財・技術マーケティング力強化	地域イノベーションエコシステム形成支援	協力者DB整備	DB・ネットワーク活用マッチング試行		DBやネットワーク活用マッチング運用 ★年10組のマッチング		国内外の研究シーズ引き込みにより社会実装支援を促進
	外部ネットワークの構築	知財戦略策定	知財戦略策定 ★5名雇用	知財チーム整備・マーケティング遂行				
	海外展開可能なイノベーションプログラム整備	大学発新産業創出基金事業スタートアップ・エコシステム共創プログラム(PARKS)	法規制戦略策定 ★4名雇用	法規制・標準化チーム整備／九工大発スタートアップへの支援				インキュベーションプログラムを定常化／世界レベルの社会実装支援体制の構築
環境整備	宇宙開発世界拠点化	超小型人工衛星CubeSatサロン開設	体制整備 サービス試行	追加メニュー検討	運営の自走化検討		自走運営	有望分野の世界的開発評価・実証拠点化の達成
	ロボット開発世界拠点化	地方大学・地域産業創生交付金	水中ロボット開発環境スタッフ整備	九工大・長崎大・東大での連動運営モデル構築			ニーズ起点の実証試験の推進 自走化試行	宇宙分野・ロボット分野に次ぐ有望分野の開拓と拠点の拡大
	通信開発世界拠点化	NICT Beyond 5G 研究開発促進事業	仕様選定入札	整備	運用開始		自走モデル構築	
	ひびきのオープンファシリティセンター構想推進	内閣府イノベーション創出環境強化事業	オープンファシリティセンター構想企画構築		設備強化と運営試行 ★300件/年		自走化収益モデル検討、スタッフ強化	ひびきのオープンファシリティセンターを核に自走可能な収益モデルの安定運営 ★500件/年、1000人1/年
人材育成	技術系職員の高度化	宇宙航空科学技術推進委託費(宇宙航空人材育成プログラム)	東工大TCカレッジへの参加とカリキュラム検討	運営体制整備		カリキュラム運用 PM教育提供開始 ★20人育成		社会実装における技術開発を担える技術職員の体制確立 ★40人育成
	九工大大型URAの増員	次世代研究者挑戦的研究プログラム(新SPRING)	OJT型育成PG開発		育成PGの効果検証 ★3名雇用	本格実施		研究経営のできる九工大大型URAの育成
	社会実装の担い手となる工学博士や博士学生等の育成	博士学生時給ルーラー改善・GAPファンド	博士学生時給ルーラー改善・GAPファンド 参画開始 ★4名雇用	未来思考実証センターでの雇用の仕組み確立、雇用開始 ★学部アントレ履修100%		博士後期課程学生の研究推進サポート体制および就職支援体制の強化 ★75人育成		社会実装の担い手としての博士学生育成／国内外の連携機関へのリクルーター派遣 ★150人育成
	FD・アントレ教育強化	高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援事業	北九大との連携科目検討、体制整備	トランスディシプリナリー教育研究センターの設置(北九大)		アントレ教育・RMSコースの強化		教職員・博士学生のプログラムマネジメントスキルの浸透
社会科学と技術を融合可能なトランジションマネジメント人材育成						本格運営	トランジションマネジメント人材による社会科学とテクノロジーの融合の加速化 ★のべ1800人/年	

イノベーション創出大学モデルを確立

・外部資金比率30%の達成・スタートアップ120社創出

地域中核・特色ある研究大学強化促進事業 (J-PEAKS)